



北区新川にある帝国車輜の社屋。自動車の美装に関しては特に力を入れており、仕上がりに絶対の自信をもつ

養護学校の生徒のために 技術を習得する研修の場を提供 障がい者雇用のモデルケースにも

自動車の修理や美装などを手がける帝国車輜は、知的に障がいのある生徒が通う北海道札幌高等養護学校クリーニング科の生徒を対象に、自動車美装に関する技術指導や使用機材の情報提供を実施。技術のみならず、働く喜びと厳しさも教え、社会進出に対する生徒の意欲を引き出しています。

養護学校で技術指導と講義 授業のレベルアップに貢献

この取組をスタートさせたのは、同社の梅村智秀代表が、たまたま北海道札幌高等養護学校の製品販売会の新聞折り込みチラシを目にしたときに、「カークリーニング」の文字に興味を引かれ、同校を訪問したのがきっかけ。同校クリーニング科では見よう見まねで実習していることや地域との交流がほとんどなかったことを知り、協力を申し出たといえます。それ以来、定期的に出向いて自動車美装の技術指導や講義を行

い、教材についてもプロ仕様のものをベースにアドバイス。授業のレベルアップにつながりました。

生徒を自社に迎え入れて行う現場実習では、仕事の技術を教えるだけでなく、働く喜びと厳しさを感じてもらいたいとの思いで指導しています。「この作業によっていくらの収入を得られるのか」「ミスした場合はなぜそうなったのか」。そうしたことを考え、理解することで、「自分を必要としてくれる人がいることを感じ、社会に出る自信や意欲を養ってもらいたい」と思っているそうです。

自社への雇い入れを前提に研修 障がい者雇用のモデルケースに

平成22年秋には翌年春からの雇用を前提に、養護学校の男子生徒1名を長期間研修させました。まず自社で障がい者雇用の実績を作り、モデルケースとなって業界他社や取引先にも理解と取組を働きかけていく考え。梅村代表は「うちの会社は美装の技術、仕上がりには絶対の自信をもっているが、養護学校の生徒が実習で会得する技術や仕事に対する姿勢は社会で十分通用するレベル」と太鼓判を押します。

社内では実習で受け入れた生徒とは全社員が何らかの形でかかわるようにしています。授業のお礼にと生徒から届いた手紙や手作りの木製ラック、花などは全社員で回覧。今まで以上に社員の結束力も強まったといえます。また、生徒の親とも交流が生まれ、喜びや感動を共有しています。

成功の秘訣
全社員が
何らかの形で
取組にかかわる

自動車修理・美装、販売

株式会社 帝国車輜

北区新川

その他 ■機会創出 ■技術提供

元受刑者などを積極的に雇用 誰もが希望をもって 毎日働ける社会を目指して



従業員は約55人。平成23年4月には、新たに新卒者（中・高・専門・大学）38人を採用

● 本業を活かす

年賀状で植林

就職機会提供



「取組は先代の時代から続けている」と話す小澤専務

とび・土工・解体

北洋建設株式会社

東区北20東12

その他 ■機会創出

「やる気」を支え応援 昭和48年創業時から継続

元受刑者や中卒者、非行歴のある少年などを雇い入れて30年以上になる北洋建設。仕事を教えるだけでなく、生活指導の面においても力を注ぐなど、彼らが社会のなかで生きるためのバックアップを惜しみません。これまで大きな事件を起こしたことはなく、冬は早朝から近所の除雪を手伝ったりと、地域との良好な関係も築いてきました。取組を続けていることに対して、「うちに職場を提供できる環境があるだけ。誰しも平等に普通の生活を送る権利がある。資金面はキツイが、困っている人がいるなら何とかしてあげたい」と同社の小澤輝真専務。本人にやる気があれば、学歴や経験は不問。しかし、短期間で辞めてしまうケースも多くあります。「そのなかでも残った人間が戦力になって会社に貢献

してくれている。うちに仕事をしてくれる元請けの方々にも感謝している」と話します。

NPOからの要請に応え 知的障がい者を受け入れ

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフが運営する「元気ジョブ」との出合いをきっかけに、平成22年から知的障がい者の雇用も開始。先輩従業員が彼らに適した仕事を準備し、作業してもらったところから始めたそうです。

「うちのような会社がどんどん増えていけば、就職の機会に恵まれない人たちをもっと救えるのではないだろうか」。小澤専務はそう考えています。

成功の秘訣

積極性と
責任ある
フォロー

社員扮するサンタクロースが 児童福祉施設の子どもたちに クリスマスケーキをプレゼント

コンビニ

株式会社
セイコーマート

中央区南9西5

その他

■社員参加 ■物品提供

子どもたちの夢を叶える 社員参加の取組

児童福祉施設の子どもたちにクリスマスプレゼントを届ける活動が続いているセイコーマート。毎年12月22日にサンタクロースに扮した社員がクリスマスケーキやお菓子を持って全道を回ります。移動は車で、ケーキのクリームを溶かさないうように暖房は入れないで走行。可能な

限り一人ひとりに手渡しし、サンタクロースの存在を信じる子どもたちの夢を叶えます。

地域貢献・環境対策室室長の大森慎二さんは取組について、「クリスマスを特別な日と考える当社ではオリジナルのクリスマスケーキに力を入れている。もっと多くの人にその日を楽しんでほしいという思いが根底にある」と話します。

強みを活かすことが 長く続ける秘訣

取組を開始した平成14年の訪問先は札幌市内14施設だけでしたが、積極的にアプローチをし、平成21年には全道76施設にまで増えました。訪問した施設では必ずアンケートを取り、それを基にプレゼントの内容を検討。より喜んでもらえるよう努力を惜しみません。



- 1 社員サンタにとってうれしいのは子どもたちが喜んでくれること
- 2 「今後も社会貢献には積極的に取り組んでいきたい」と大森室長
- 3 セイコーマートオリジナルのクリスマスケーキをプレゼント

成功の秘訣

会社の強みを
活かした
無理のない活動

継続のコツは「会社の強みを活かし、身の丈にあった活動を心がけること」だと大森室長。子どもたちからのお礼の手紙も励みになっているといいます。

創業30周年を機に 全社員参加の社会貢献活動 「名刺両面作戦」も実施



名刺裏にはボランティア団体を応援するメッセージが

● 本業を活かす

社員センター

活動応援



デジタルカラー複写機の無償使用でボランティア団体を支援

情報機器販売

富士ゼロックス 北海道株式会社

中央区大通西6

その他

■社員参加 ■活動支援

地域への感謝の気持ち 全社員参加による活動

これまで様々な社会貢献活動に取り組んできた富士ゼロックス北海道。平成22年には創業30周年を機に、企業活動のベースである「北海道」への感謝の気持ちを含めて、「全社員が身近なところで何らかの社会貢献をする」という活動を行いました。

この取組は、社員の給料のうち、100円未満の端数のお金を社会のために寄付する活動を続けていた「端数倶楽部」が中心になって推進。同年7月から9月までの3カ月間、公園などの清掃を中心に約450人の全社員が本社、営業所がある全道各地域で活動しました。

名刺の裏に入れた言葉で ボランティア団体を応援

社会貢献に対する社内の機運を「一過性のもので終わらせたくない」と次に取り組んだのが

「名刺両面作戦」でした。

これは同社がデジタルカラー複写機の無償使用という形で従来からサポートしてきたボランティア団体に対する応援メッセージを全社員の名刺裏に載せるという取組。「拡大教科書の制作」と「札幌遠友塾」に対する応援の言葉が名刺裏に貼られるシールに印刷されています。

「拡大教科書の制作」は文字などを大きくした弱視の生徒用の教科書を作る活動、「札幌遠友塾」は病气や戦争の影響で学ぶ機会に恵まれなかった人が通う夜間中学校です。

同社では、今後も活動継続に向けて社員の背中を押す仕掛けづくりを考えています。

成功の秘訣

社会貢献の機運を
継続させる
仕掛けづくり

● 本業を活かす



平成22年秋に行われた料理教室の様子。この日はそば打ち体験を実施

札幌市の区役所などで食堂を経営している白石観光。利用者への恩返しを考えた布施正樹代表は、調理師や生産者と連携し、食育を目的とした「札幌市民と北海道の農水産物を食する会」を発足させま

区役所などの食堂経営

白石観光株式会社

厚別区上野幌

その他 ■その他

利用者への恩返しに 調理師や生産者と連携した食育活動



勉強会で講師の話に興味深く聞く参加者。講師は全道各地から招く

した。数カ月に1度、市民を対象に食に関する勉強会と料理教室を開催しています。

勉強会の内容は、健康をキーワードに栄養学から生産の背景まで幅広く、後日レシピとともに冊子にまとめ、参加者に郵送しています。また、レシピは区役所の食堂のメニューとしても活用。客に喜ばれるのみならず、スタッフの食の提供者としての意識や責任感も高まったそうです。布施代表は「講師の確保やテーマ探しなど苦労はあるが、参加者の喜ぶ顔を見るとやめられない。信じて続けるのみ」と熱意を見せます。

生ごみ再利用

花

育

大人向け食育

まちづくり

不動産業

丸栄寺田商事株式会社

北区篠路

環境保全 ■物品提供

**蔵書や不要本で私設図書館
近隣の住民に無料貸出**

引越越し現場で顧客から処理を依頼されること多い不要本と読書好きだった先代社長の蔵書を活かし、地域に何らかの貢献ができればとの思いで、社屋2階に私設図書館「寺田文庫」を開設。本業の宣伝チラシでも周知を図り、近隣の住民ら利用者に喜ばれています。



所蔵約5千冊はジャンル別に整理

広告代理店

株式会社 ヨミックス

中央区北4西4

福祉 ■社員参加 ■機会創出

**児童養護施設の子どもに
夏の思い出をプレゼント**

家庭の事情で夏休みに帰宅できない児童養護施設の子どもたちをルストリゾーに1泊2日で招待し、社員も引率者として思い出づくりに協力しています。38年間続くこの活動は、賛同する企業が読売新聞に広告を掲載し、その際に生じるヨミックスの収益を充て実施されています。



子どもたちから寄せられた感謝の手紙

まちづくり会社

株式会社 ノーザンクロス

中央区北1西5

環境保全 ■機会創出

**「サツポロ・ミツバチ・
プロジェクト」を展開**

環境指標生物であるミツバチとのふれあいを通じて都心の環境を見直し、都心の環境保全や魅力づくりを進める活動をまちづくりの一環として実施。

ビルの屋上を緑化しミツバチの生育環境を整えると同時に、はちみつなどを題材にしたイベントも開催しています。



子どもたちと一緒にビル屋上で採蜜体験



20チームが熱戦を展開した「第1回アジャタ（玉入れ）小学生大会」

札幌大学では、大学が所有する知的・人的・物的資源を地域のために活用しようと、幼児から高齢者まで誰もが文化、スポーツを学び、楽しめる「札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブ」を平成21

大学運営

学校法人 札幌大学

豊平区西岡

その他 ■人材活用 ■物品提供

スポーツ・文化総合型クラブを設立 世代間交流で元気な地域づくりに貢献

会員は小・中学生とその保護者、高齢者が多く、9割以上が豊平区の住民。同大学では地域交流、世代間交流の場として「より多くの人が参加できるプログラムづくりや施設環境の充実を図っていきたい」としています。

年に設立。教職員、学生、地域の住民が連携して運営・活動にあたっています。



豊平区と連携し実施した「親子でReフレッシュ!」には93人が参加

同大学の施設で行うプログラムは各種スポーツ教室や講習会、楽器体験会、吹奏楽コンサートなど多種多様。特別支援学級・学校の児童生徒を対象に「チャレンジド・スポーツ教室」も開催しています。

農業協同組合連合会

**ホクレン農業協同組合
連合会 本所**

中央区北4西1

教育 ■機会創出



“農”感塾に参加した小学生が生産者のアドバイスの下で田植えに挑戦

ホクレンでは、食育活動として、株式会社農協観光とのタイアップによる農業体験バスツアー「ホクレン「農」感塾」を平成20年からスタートさせています。

この取組は、親子で農業や

「食」と「農」の大切さを広く発信 北海道の発展に向けて様々な活動を支援

このほか、毎年秋には札幌市を通じ、新米4トンを児童福祉施設に贈呈。また、北海道の地域活性化や青少年の健全育成を目指し、スポーツ大会や少年スポーツ活動、文化活動に協賛し、オフィシャルスポンサーとして北海道日本ハムファイターズなどを支援しています。

酪農の生産現場にふれる機会を設け、農業の果たす役割と重要性、食べ物の大切さや農産物への理解を深めてもらうというもの。札幌近郊の親子を対象に田植えや稲刈り、野菜収穫などのプログラムを年6回実施しています。



昭和61年から少年野球大会に協賛し、青少年の健全な育成を支援

● 本業を活かす

各種教室開催

無料演奏会

寄付付自販機

就労体験

自動車中古部品販売

石上車輛株式会社

豊平区月寒東

環境保全 ■社員参加

「自動車リサイクルの森」
廃車1台で1本の木を植樹
 一般ユーザーから引き取った廃車1台につき、カラマツ1本を美幌町に植林し20年間管理する「自動車リサイクルの森プロジェクト」を平成20年に始動。「リサイクルを通じて地球環境に貢献」というコーポレートスローガンの下、長期的な視点に立った活動に取り組んでいます。



これまで約9千本のカラマツを植樹

音楽教室運営

ハート音楽院株式会社

中央区大通西2

文化芸術 ■社員参加 ■技術提供

生の音楽にふれる機会を20年以上継続する演奏会
 福祉施設や幼児教育機関からの依頼を受け、出張演奏会を行っています。演奏会は学院の講師陣によるピアノやギターなど様々な楽器のアンサンブル。授業の合間を縫っての日程調整は大変ですが、「生の音や楽器にふられるいい機会とすれば」という一心で続けています。



奏者も楽しんでるのが長続きの秘訣

職業訓練校

株式会社 北海道ビジネスアカデミー専門学院

北区北7西4

その他 ■機会創出

自前の野菜販売店を立ち上げより効果的な職場実習の場
 関係各省市・団体の就職支援や人材育成関連事業の職場実習のために自前の野菜販売店「サニータイム」を立ち上げました。通常は他企業に受け入れてもらう実習について、同学院のこれまでのノウハウを活かし、目の届く直営販売店での効果的、実践的な訓練を行う試みです。



店では運営全般にかかわる経験を積む

証券業

上光証券株式会社

中央区北1西3

その他 ■機会創出

資産運用のコツ教えます 無料の出席セミナー開催
 資産運用を学びたい、始めたいという道民のニーズに応え、無料の出席セミナーを開催しています。講師は社員や社外専門家が担当。オリジナルのテキストを作り、規模や内容に応じて年100回程度実施しており、支店のない遠方エリアへの「出前」も積極的に行っています。



主婦の勉強会から大規模なものまで行う

コーヒー豆販売、喫茶店経営

ロイズコーヒーユニオン株式会社

中央区南21西10

教育 ■社員参加 ■技術提供

小中学生を店舗に招き職業体験学習を実施
 近所の小中学校からの要望で、店舗にて生徒の職業体験学習を実施しています。小学校低学年は質疑応答、同高学年、中学生はスタッフながらに接客やコーヒーを淹れる作業などの日常業務を手伝います。担当者は「働くことの喜びや面白さなどを感じてもらえれば」と語ります。



おいしいコーヒーの淹れ方にチャレンジ

清涼飲料販売

北海道キリンビバレッジ株式会社

中央区北11西19

その他 ■資金提供 ■物品提供

自動販売機を通してピンクリボン活動を応援
 乳ガンの早期発見、診断、治療の大切さを啓発するピンクリボン活動を応援しています。ピンクリボン自動販売機を設置するほか、イベントにも協力。この自動販売機の売上は販売店と同社で各1%ずつ、日本対がん協会ほほえみ基金に寄付されています。



市内に設置したピンクリボン自動販売機



寄付に対する感謝状を受け取る
横山清代表取締役社長

北海道シジシー（北海道CGCグループ／道内スーパー11社加盟）は、昭和56年からチャリティーキャンペーン事業を実施してきました。また、周年記念事業で寄付を行うなど、継続的に社会貢献活動に

共同仕入機構

株式会社 北海道シジシー

豊平区平岸

その他

■資金提供

環境保全活動を推進するCGC基金設立 創業記念にさぼーとほっと基金にも寄付



石狩森林管理署と協定を結び、「北海道CGCの森づくり」に取り組む

取り組んでいます。

平成20年には「北海道CGCみどり」ところの基金」を設立。この取組は、同グループ加盟社がレジ袋販売金額全額を同基金へ寄付し、環境団体や研究機関などに対して助成を行なうものです。同基金の直轄事業として、支笏洞爺国立公園内の国有林において森づくりも進めています。

平成22年の創業30周年の際には、記念寄付先のひとつに札幌市の「さぼーとほっと基金」を選定。次代を担う子どもたちのためにとの思いから、子育てを支援する「CGCこども基金」を設置しました。

医療・介護

社会医療法人 禎心会

東区北47東17

福祉

■人材活用 ■機会創出



運営する新札幌恵愛会病院では職員が支笏湖周辺復興の森づくりに参加

社会医療法人禎心会では、「良質な医療、介護を通じて地域社会の繁栄に貢献する」という理念に基づき、社会貢献活動の一環として無料講演会を行っています。

講演案内はホームページに

病気に関する正しい知識などを伝える 無料講演会や「がんフォーラム」を実施



「がんフォーラム」では正しい知識や予防・治療法をわかりやすく説明

掲載。テーマや日程の調整がつけば、同法人の医師や医療スタッフが講師として出向き、医療情報を提供しています。少人数にも対応し、企業のか町内会や老人クラブなどからの依頼も多いそうです。平成21年からは一般市民向けの「がんフォーラム」を主催。「市民や地域の方の健康づくりの役に立てれば」という思いから、今後も活動を続けていきたいと考えています。

また、運営する病院やクリニックなどにおいても、環境に配慮した取組や乳がん・ピンクリボン運動のイベントなどに参加しています。

● 本業を活かす

基金設置

灯具清掃修理

就労体験

保育園開放

電気・電気通信工事

エル電株式会社

東区北33東18

地域安全 ■社員参加 ■人材活用

**工事現場の周辺地域にて
防犯灯や電灯を清掃・修理**

「社業を通じて世間に貢献」を社訓とするエル電。地方での作業が長期にわたることがあり、休工日を使って工事周辺地域の防犯灯、バス停や公衆トイレの電灯清掃・修理、草刈りなどを行っています。「今後は札幌市内でも何か活動ができれば」と考えています。



地域を巡回し、清掃や電球の交換を実施

郷土料理店経営

札幌観光株式会社

中央区南3西4

その他 ■物品提供

**児童養護施設の子どもを
「杉ノ目」の会席に招待**

「きょうじょう料理亭 杉ノ目」を経営する札幌観光では、市内数カ所の児童養護施設の子どもたちが高校を卒業し社会に出るタイミングで、杉ノ目の会席に招待し、フルコース料理を食べるときのマナーを指導しています。「お祝いと激励の意味を込めて行っている」と杉目幹雄代表。



杉ノ目で会席料理を楽しむ卒業生たち

コーヒー豆販売、喫茶店経営

株式会社 宮田屋珈琲

清田区清田

教育 ■機会創出 ■技術提供

**小中学生向けコーヒー講座
豆の焙煎の見学も実施**

地元の小中学校からの依頼で、生徒を対象にしたコーヒーに関する講座を行っています。清田区本店でコーヒー豆の焙煎の様子を見てもらうほか、淹れ方や豆の産地、味などを宮田一也代表が自ら講義。「この研修が子どもたちの成長にいい刺激となればうれしいですね」。



生豆について生徒に講義する宮田代表

調剤薬局、ドラッグストア運営

株式会社
アインファーマシーズ

東区東苗穂

教育 ■資金提供 ■機会創出

**医薬・医療分野で産学連携
5つの大学に寄付講座設置**

平成17年から総合大学の医学部にて寄付講座をスタート。全国5大学で7講座を実施するとともに、医薬に関する共同研究を行っています。同社では産学連携の取組を通じて、「医薬・医療の発展、次代を担う医療従事者の育成に寄与していきたい」と考えています。



東京大学医学研究所研究室の光景

保育園

社会福祉法人 陽光福祉会
光の子保育園

豊平区月寒東

子育て ■社員参加 ■機会創出

**保育園児と地域の親子が
遊ぶ場・つながる場を提供**

保育園に通っていない子どもたちを園児と一緒に遊ばせたり、親同士の交流、保育士とのふれあいを図るなど、保育園を知ってもらおう活動に取り組んでいます。「地域との交流を大切にし、保育の現場から情報を発信して、子育てを応援できたら」というのが同保育園の思いです。



にぎやかに園児と楽しく遊び

イチゴ生産、観光農園

株式会社 Snowberry Farm

南区豊滝

その他 ■機会創出

**ニートなどの若者に
働く機会・訓練の場を提供**

札幌市からの打診がきっかけで、2年前から就労機会が得られない若者などを訓練生として受け入れています。彼らは5カ月間、イチゴの栽培から出荷に至る作業を経験。「短期間だが忍耐力や精神力を養い、ここで培ったことを次に活かしてほしい」というのが同社の思いです。



イチゴ栽培を通して忍耐力などを養う

靴小売

株式会社 アルファ美輝

中央区南1西7

その他 ■その他

**病院では教えてくれない
足にまつわる健康相談会**

「足や靴の悩みを抱えている人たちのかけこみ寺になれば」。健康靴を販売するアルファ美輝は、そんな思いを胸に、足の健康相談会を随時無料で行っています。スタッフ全員がシューフィッターの有資格者。病院では教えてくれない足や靴にまつわる知識を提供しています。

正しい靴の選び方や歩き方をレクチャー



建設コンサルタント

株式会社 エコテック

中央区北3西2

教育 ■技術提供

**川を知り、親しみ、学ぶ
子どもの環境学習を支援**

NPO法人水環境北海道が平成9年から主催する「千歳川かわ塾」。同社の妹尾優二取締役会長が塾長を務め、子どもたちに命の尊さや自然との共生などを学ばせています。「活動の基本は教育。知識よりも知恵を、また、困難にめげない精神的な強さを育てたい」と妹尾会長。

たも網を手に、川の生き物を調査中



広告代理店

株式会社 創文

中央区北3西2

スポーツ ■機会創出 ■技術提供

**北海道野球協議会の活動を
企画広報面で全面的に応援**

子どもたちが安心して野球に打ち込める環境づくりをと、NPO法人北海道野球協議会が設立した「北海道ベースボール子ども夢基金」を応援。寄付金を集める様々な企画を考え、実施しています。「次代を担う青少年の育成に少しでも貢献できれば」と木村明宏代表取締役。

各種グッズや印刷物の制作も同社が担当



自動車学校

株式会社 藻南自動車学校

南区川沿

地域安全 ■物品提供 ■技術提供

**高齢者の交通安全を目的に
ドライバークラブを設立**

町内会や札幌方面南警察署と連携し、高齢者に安全運転・交通安全を呼びかける組織として、平成21年9月「もなみシルバードライバークラブ」を設立。会員登録している地域の高齢者に向け、電動車いすの安全講習会や交通事故現場見学など、独自の企画を実施しています。

電動車いす講習会では実車の体験運転も



金融業

北海道労働金庫

中央区北1西5

その他 ■資金提供

**福祉、市民活動を後押し
独自の社会貢献助成制度**

創立50周年を迎えた平成13年度に「北海道ろうきん社会貢献助成制度」を創設。市民活動に取り組むNPOやボランティア団体に助成を続けています。助成先は年度ごとに募集をかけ、会議によって選定。平成22年度は42団体に計805万円の助成を行いました。

助成先のうち3団体を招き行った贈呈式



人材派遣、音楽教室運営

株式会社 ブライトサッポロ

中央区南1東2

文化芸術 ■人材活用

**イベント会場
無料、ゴスペルライブ**

各方面からのボランティア出演要請に応えて、ブライトサッポロ音楽スクールの講師と生徒が、様々なイベント会場の講師と生徒が、様々なイベント会場、介護老人保健施設、病院などで無料ライブを行っています。演目はゴスペルが中心。ボランティアに参加できる歌い手は100人以上登録されています。

毎年盛り上がりを見せる雪まつりライブ



地域のトピックスや情報を 広く、きめ細かく紹介 ミニコミ誌「れじおん」無料配布

新聞販売店

株式会社 どうしん
厚別販売センター

厚別区厚別中央

その他 ■その他

豊かな地域づくりのため ミニコミ誌を無料配布

「豊かな地域づくり」という理念の下、厚別区内の新聞販売所3店と連携し、ミニコミ誌を発行。イベントからサークル活動まで、まちネタを広く、細かくピックアップした「れじおん」のほか、「マンスリースポーツ」、福祉がテーマの「リアン」の3種を新聞折り込みで

区全域に無料配布しています。

「れじおん」は昭和60年から毎月発行し、すでに300号を超えています。1000号毎に縮小版も制作し、公共機関に提供。地域の歴史をつづった貴重な書物としても喜ばれています。

区民が多く登場 地域愛あふれる誌面構成

これらミニコミ誌の制作は、

同社が地域交流・情報交換の場として社屋とは別に建てた「ウエストライフ」という施設内の編集室で行われています。記事ネタは主に住民から寄せられますが、記者や営業担当者も足を

使って探し、取材に出かけます。B4サイズ8ページの誌面には情報がびっしり。区民が多く登場する誌面からは、地域に対する愛情が伝わってきます。



①B4判8ページの「れじおん」は毎月2万8,000部発行
②「地域の人からの“ありがとう”が励みになります」と熊代表
③図書室や貸出ホールなどがある「ウエストライフ」内の編集室

成功の秘訣

地域愛と
使命感をもつ

熊敏彦代表取締役は、「豊かな地域づくりが当社の理念。『れじおん』が人々の生活に役立つ限り、続ける使命がある」と語ります。



同社の職人が技術を“伝授”。一般の人が利用できる施工体験工房

地域貢献活動を社員の人づくりの一環として位置付け、社屋裏手にある公園の清掃を行っています。「小さな会社は地域の人に支持されてはじめて事業が成り立っていく。大手のような宣伝力がないか

リフォーム・内外装工事

株式会社 アスペック
コーポレーション

東区北32東18

その他 ■社員参加 ■技術提供

地域との絆づくりを大切に考え できること、役立つことを積極的に実践

また、同社では以前から東区の老朽化が進む会館の壁の無料リフレッシュ工事を検討。これから毎年1カ所ずつ実施することを計画しています。今後は志を同じくする会社や商店とともにイベントなども企画し、地域づくりに貢献していきたいと考えています。

長年の清掃活動は地域から感謝されています。町内会からは「恩返し」の意味を込めて、元町公園会館改修工事の依頼が同社にありました。現在、住民参加型の工事方法を同社から提案中です。



公園の清掃活動は週2回。社員が持ち回りで業務開始前に行っている



コンサの森で行う「森の教室」。カミネッコンでヤチダモなどを植樹

「ホームアイランド北海道」を掲げ、全道各地で地域貢献活動を実施。選手によるサッカー教室、年間100カ所を

コンサドーレ札幌運営

株式会社 北海道
フットボールクラブ

豊平区羊ヶ丘

環境保全 ■人材活用 ■機会創出

地域に密着した様々な活動を展開 子どもたちに豊かな緑を残す森づくりも

平成20年からは環境保全の取組の一環として、台風によって大きな風倒被害を受けた支笏湖周辺国有林の復興を目指す「コンサ百年の森づくり」を開始。一般公募の参加者とともに、3年間で約7千本の苗木を植樹したほか、子どもたちに森の役割や大切さを知ってもらうために「森の教室」も開催しました。

超えるドーレくん（クラブマスコット）の福祉施設や幼稚園・保育園訪問、ホームゲームの際に小・中学生を無料招待する「夢プランファミリースhirt」事業など、活動は多岐にわたります。



「森の教室」に参加した千歳市立緑小学校の子どもたち
※写真提供/H.F.C



社外の任意団体が開催している石狩浜のごみ拾い活動にも参加

IT技術者が社員の大半を占める北海道総合技術研究所では、社外に目を向ける機会を創出しようという代表の意向で、平成17年より、社内整備・活性化五カ年計画を開始。社員が「社内教育」「PR」

システム開発

株式会社 北海道総合技術研究所

中央区北10西24

その他

■社員参加

社外に目を向ける機会としてスタート 清掃活動に励むボランティアチーム

現在、社員全員参加を目指し、過去の活動内容を発表するなど、様々な仕掛けを試行中。また、ほかの活動にも挑戦したいとも考えています。

「セキュリティ」「防災」「ボランティア」という5つのチームのいずれかに属し、成果を上げるという取組です。7名が在籍する「ボランティア」では、リングプルやエコキャップの収集、清掃活動を行っています。清掃活動時はほかの社員にもメールなどで声をかけ参加を募りませんが、今一番の悩みは参加メンバーが毎回固定化しつつあるということです。



これからもっと参加人数を増やしたいという会社周辺のごみ拾い

テレビ局

株式会社 テレビ北海道

中央区大通東6

子育て ■人材活用

**技術に裏付けされた表現力
TVhアナ「読み聞かせ隊」**
開局20周年を契機に、希望する保育園や幼稚園、学校を対象にしたアナウンサー読み聞かせボランティアを始めました。最初はノウハウのあるNPOに相乗りし、経験を積んだ後に単独活動を開始。プロならではの表現力が評判を呼び、口コミで依頼がくることもあるそうです。

大藤アナと丹羽アナによる読み聞かせ



幼稚園

学校法人 資生学園 つぼみ幼稚園

中央区南7西25

福祉 ■その他

**地域交流活動の一環として
園児が福祉施設を訪問**
地域との交流を大切に考えるつぼみ幼稚園では、敬老の日やクリスマスなどの行事に合わせて年4回、園児が介護老人福祉施設を訪問。踊りや歌、折り紙などを一緒に楽しんでいます。子どもたちの訪問は、あらかじめ施設の年間計画に加えられるほど、入所者たちに好評です。

園児の訪問は施設にも喜ばれている



保育園

社会福祉法人 藤美福祉会 菊水元町保育園

白石区菊水元町

子育て ■機会創出 ■技術提供

**開かれた保育園を目指して
人材と教材を地域に開放**
地域に開かれた保育園を目指し、月1回、保育園に通っていない未就学児とその保護者を対象に園を開放。在園児と一緒に保育する「子育てサロン」と「ちっ子」を開催しています。要望に応え、子育ての不安や悩みに関する相談も受付。常連の参加者も多く、好評を得ています。

保育士の下、いろいろな遊びを体験



水産卸売

札幌シーフーズ株式会社

中央区北14西18

地域安全 ■社員参加

朝の通勤ラッシュ時間帯に安全運転を呼びかけ

朝の通勤ラッシュ時間帯に安全運転を呼びかけ、朝の通勤ラッシュの時間帯に、社員が道路脇に立って交通安全旗を振っています。

旗を振って安全運転を呼びかける社員



木製建具・造作家具・木枠の製造施工

鷺尾ウッドワーク株式会社

東区北48東18

環境保全 ■社員参加

花壇設置や清掃・除雪など小さな活動を大事に継続

花壇設置や清掃・除雪など様々な活動を行っています。「活動は社員の連帯感を育てる教育」と鷺尾代表取締役。「地域への恩返しのできる気持ちで小さなことでも大事に続けている」とも話します。

花壇づくりは社員からの提案でスタート



事例紹介Ⅳ

まだまだある

企業による取組

情報通信サービス

株式会社 つうけん

白石区本通

環境保全 ■社員参加

社員参加型植樹活動「つうけんの森」づくり

300台前後の社用車を走らせていることから、環境保全のために何かしたいと考えた田原社長が、社内一斉メールで活動内容を募ったのが植樹活動の始まり。より多くの社員が参加し、楽しめるように、当日はレクリエーションを兼ねるなどの工夫をしています。

第1回目は200人ほどの社員が参加



産業廃棄物収集、運搬、処理

北海道衛生工業株式会社

東区丘珠町

その他 ■物品提供

リサイクル堆肥を提供 体験農場の畑づくりに一役

食品工場などから収集した生ごみを自社で堆肥化し、農家に運搬・提供しています。平成22年には、この堆肥を施用した丘珠・北島農場の畑で、地元幼稚園の園児がジャガイモの栽培を体験。同社では「無理せず仕事の延長線上で、地域の活動に参画できれば」と考えています。

春に植え付けたジャガイモを園児が収穫



道路舗装工事

秋津道路株式会社

豊平区中ノ島

環境保全 ■社員参加

会社周辺の清掃活動を開始 冬期は転倒防止に砂散布も

「長く続けられることを」と考え、平成22年1月から豊平区アダプト制度に参加。地域住民とともに会社周辺道路沿いのごみ拾いを行い、冬場は自主的に地下鉄中の島駅周辺での砂まきを実施しています。活動は社員間のコミュニケーションの場にもなっているそうです。

本社社員が2カ月に1度清掃活動を実施



日用品販売

ホームック株式会社

厚別区厚別中央

環境保全 ■社員参加

「ホームマックの森」を増やす
 カミネツコンで
 カミネツコンによる森づくりを4年前から継続しているホームマック。社員と地域住民で種を獲り、苗木を栽培するところから手がけています。再生ダンボールを使った植栽ポットは、社名入りのものを用意。店舗のあるエリアすべてに「ホームマックの森」をつくるのが夢です。



植樹には社員とその家族も参加している

保育園

社会福祉法人 札幌光明園 まこと保育所

白石区菊水

その他 ■その他

**「ご近所付き合いのノリで
地域とコミュニケーション」**
 「保育所をひとつの資源として役立たせたい」と話す真鍋尚美所長。所内でのお下がり衣類提供や住民への物品貸し出しなど、昔ながらの「ご近所付き合い」のノリで地域と接しています。毎年夏には保護者主催で周辺の住民も自由に参加できる「園庭ビアガーデン」も開催。



毎年開催される「園庭ビアガーデン」

土木、とび・土工、建築

北土建設株式会社

中央区南10西14

環境保全 ■社員参加

**揃いのジャンパー着用で
会社周辺のごみ拾い**
 地域への恩返しとして、平成20年に中央区道路アダプト制度を締結し、環境美化活動を続けています。主な取組は月1回ペースで行う社屋周辺のごみ拾い。揃いのジャンパーを着用し、社員の士気を上げていきます。また冬期には砂箱を設置。歩道や交差点への砂まきも行っています。



活動には毎回10〜15人の社員が参加

住宅建築

有限会社 藤城建設

東区中沼町

地域安全 ■その他

**早朝の除雪を続けて約15年
冬の通勤・通学をサポート**
 「冬場の地域安全に寄与できれば」と、藤城社長自らショベルカーで社屋前の通勤・通学路の歩道除雪を実施。朝5時から夜7時まで革靴で歩ける状態を保っています。また「生まれ育った中沼を人の集まる地区にしたい」との思いから、様々な地域づくり活動に取り組んでいます。



バス停と信号の間、約100mを除雪

設備設計

株式会社 山道設備設計事務所

白石区北郷

環境保全 ■その他

**子どもたちの笑顔のために
公園の清掃が日課**
 子どもたちが気持ち良く遊べるようにと、社屋の前にある公園のごみ拾いやトイレ掃除をすでに10年以上続けている山道富美男代表。冬期は自前の機械で園内と周辺を除雪。クリスマスには社屋をイルミネーションで飾ります。長く続ける秘訣は「楽しんでやること」。



清掃活動できれいに保たれている公園

電気通信設備工事

コムシス北海道 エンジニアリング株式会社

手稲区手稲星置

スポーツ ■物品提供

**町内会からの要請に応え
社員用駐車場を開放**
 ほしみ町内会からの要請により、土日・祝日に限り、近所の星置西公園野球場で練習や試合を行う少年野球チームとその関係者に同社の社員用駐車場を開放。この取組は、野球場周辺の路上駐車防止に効果を上げ、地域の生活環境改善や住民の安全確保に貢献しています。



駐車場は町内会と利用協定を結び開放

